



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行・横浜スペイン協会事務局 鎌倉市大船 1709-18 FAX 0467-44-5876

横浜スペイン協会創立 25周年記念号 vol.2



横浜スペイン協会 創立25周年記念

わたしたちの スペイン展

スペイン・ロンダ市に移り住んだ春田美樹画伯の絵画、下山貞明初代会長と協会誕生から二十五年の歩み、記念写真ほか協会の作品を多数展示いたします。



日時：2015年 **9/28** (月) → **10/2** (金)

初日 9/28 ▶ **13:00~21:00** 最終日 10/2 ▶ **9:00~17:00**
9/29→10/1 ▶ **9:00~21:00**

※初日 9/28 は、午後1時より開会セレモニーを行います。

会場：神奈川県民センター 1階 展示場

主催：横浜スペイン協会

後援：スペイン大使館/セルバンテス文化センター東京/神奈川新聞社/tvk(テレビ神奈川)/横浜エフエム株式会社

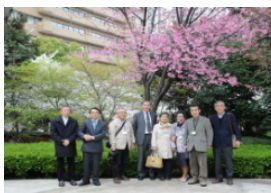


お問い合わせ：info@yokohama-spain



横浜スペイン協会 -創立 20 年から 25 年の歩み-

- 2011 年 2 月 2011 年度新年親睦パーティー (於：波止場会館 12 日)
- 2011 年 5 月 2011 年度定期総会 (於：かながわ県民センター 15 日)
- 2011 年 7 月 スペイン・サロン 「スペインの祭りと食」
講師：渡辺万里先生 (スペイン料理研究家)
(於：波止場会館 16 日)
- 2011 年 8 月 ミゲル・アンヘル・ナバーロ駐日スペイン大使ご夫妻歓迎会
故フランシスコ・ホセ・カステイージョ駐日大使墓参
(山手外人墓地) (於：横浜中華街 11 日)
- 2011 年 10 月 サン・ファン・バウティスタ号出帆記念イベント・桜植樹参加
(於：慶長使節館ミュージアム (石巻) 28 日)
- 2011 年 12 月 「スペイン料理を作って食べる会」丸山久美先生
(於：横浜技能文化センター 10 日)
- 2012 年 1 月 特別講座 「サルスエラ」講師：サンチャゴ・マルチン先生
(於：波止場会館 28 日)
- 2012 年 2 月 2012 年度新年親睦パーティー (於：波止場会館 18 日)
- 2012 年 4 月 スペイン大使館観桜会 (大使館内横浜緋桜)
(於：スペイン大使館 12 日)
- 2012 年 5 月 2012 年度定期総会 (於：かながわ県民センター 13 日)
- 2012 年 7 月 スペイン・サロン「日本とスペインの音楽・100 年の歴史」
桜田ゆみ、ヴァイオリニスト 副島聖代
(於：スペインバルブロ 中川駅 14 日)
- 2012 年 11 月 AIYES 通信リニューアル
第 63 号 2012 年 11 月 1 日号より文字拡大、自主印刷
- 2012 年 11 月 「スペイン料理を作って食べる会」丸山久美先生
(於：神奈川地区センター 24 日)
- 2013 年 1 月 「スペイン語で新聞、雑誌を読む会」
-La Plaza Mayor en Espana-
講師：Julio Villoria Aparicio 先生
(於：波止場会館 27 日)
- 2013 年 2 月 2013 年度新年親睦パーティー (於：波止場会館 9 日)
- 2013 年 3 月 スペイン大使館観桜会 (大使館内横浜緋桜)
(於：スペイン大使館 26 日)
- 2013 年 4 月 スペイン・サロン
「中近世スペインのユダヤ人と改宗ユダヤ人」
講師：関哲行先生 (於：波止場会館 20 日)
- 2013 年 5 月 2013 年度定期総会 (於：かながわ県民センター 26 日)
- 2013 年 6 月 スペイン・サロン「慶長遣欧使節 400 年記念講演会」
講師：濱田直嗣先生 (於：波止場会館 29 日)



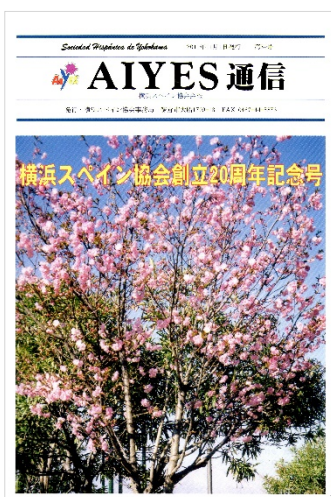
- 2013年7月 「スペイン語で新聞、雑誌を読む会」
 -サラマンカとサラマンカ大学の歴史-
 講師：サンチャゴ・マルチン・シプリアン先生
 (於：波止場会館 27日)
- 2013年10月 「旅でスペインを識ろう会」
 -セゴビア その繁栄と衰退を探る-
 講師：栗山由美子先生 (於：かながわ県民センター21日)
- 2013年10月 日本・スペイン両国大使巡礼道を歩く 四国巡礼
 ミゲル・アンヘル・ナバロ・ポルテラ大使夫妻
 横浜スペイン協会会員5名参加 (於：四国霊場 31日)
- 2013年11月 「スペイン料理を作って食べる会」丸山久美先生
 (於：横浜技能文化センター 23日)
- 2014年1月 「スペイン語で新聞、雑誌を読む会」
 -コロンビア文学のパノラマ-
 講師：サンドラ・モラレス・ムニョス先生
 (於：波止場会館 25日)
- 2014年1月 クラス特別講座
 「嬉し楽しボランティアガイド」-目指せ東京オリンピック-
 講師：渡邊昭夫氏 (於：かながわ県民センター 29日)
- 2014年2月 2014年度新年親睦パーティー (於：波止場会館 8日)
- 2014年4月 スペイン大使館観桜会 (大使館内横浜緋桜)
 (於：スペイン大使館 3日)
- 2014年4月 スペイン・サロン「フラメンコとの出会い、そして現在
 までの足跡」講師：小松原庸子先生 (於：波止場会館 12日)
- 2014年4月 スペイン・レオン州県議会副議長 来浜 懇親会
 (ホセ・アントニオ・ベラスコ・フェルナンデス氏)
 (於：横浜中華街 7日)
- 2014年5月 2014年度定期総会 (於：かながわ県民センター10日)
- 2014年7月 夏期講習「Pasado y Presente del País Vasco」
 -バスク語の由来、歴史- 講師：アインゲル先生
 (於：かながわ県民センター 30日)
- 2014年7月 「スペイン語で新聞、雑誌を読む会」-グラナダの歴史-
 講師：フランシスコ先生 (於：万国橋センター 26日)
- 2014年9月 「旅でスペインを識ろう会」 -銀の道- 立川治彦
 (於：かながわ県民センター 8日)
- 2014年9月 スペイン・サロン 「スペイン17州を巡る音楽の旅」
 講師：桜田ゆみ テノール：小野勉 ピアノ：斉藤久実
 (於：メーテルリンク 13日)
- 2014年11月 「旅でスペインを識ろう会」
 -マラガ短期留学・アンダルシア&バロセロナ旅行報告-
 (於：かながわ県民センター 10日)



- 2014年12月 「スペイン料理を作って食べる会」 丸山久美先生
(於：神奈川地区センター 14日)
- 2015年1月 「スペイン語で新聞、雑誌を読む会」
-アルゼンチンの歴史と文学- 講師：セシリア・シルバ先生
(於：万国橋センター 24日)
- 2015年2月 2015年度新年懇親パーティー (於：波止場会館 7日)
- 2015年2月 「旅でスペインを識ろう会」-愛しのセビリア-
(於：かながわ県民センター 9日)
- 2015年4月 協会創立25周年記念公演「ロンダに咲いた桜」
(於：代々木上原 MUSICASA 12日)
- 2015年5月 2015年度定時総会 (於：かながわ県民センター 9日)
- 2015年5月 ゴンサロ・デ・ベニト駐日スペイン大使歓迎会
故フランシスコ・ホセ・カスティージョ駐日大使墓参
(山手外人墓地) (於：ポートヒル横浜ホテル 29日)
- 2015年9月 協会創立25周年記念イベント
第4回 レオン州 さくら植樹
(於：スペイン・レオン州 7日-8日)
- 2015年9月 協会創立25周年記念イベント
「私たちのスペイン展」
(於：かながわ県民センター 9/28-10/2)



* 協会の設立からの歩みは「AIYES 通信 第59号・創立20周年記念号」のP13～P18をご覧ください。協会のホームページ「AIYES 通信」コーナーでもご覧になれます。



第4回 さくら植樹・友好親善訪問

日本の桜の苗木をスペインの巡礼道へ植樹

横浜スペイン協会創立 25 周年の記念事業の一つとして計画しておりました日本の桜の苗木をスペインの大地に植樹をするプロジェクトは、スペイン・レオン県の協力により成功裏に執り行われました。

植樹式に参加された会員は 15 名で、それぞれの予定で出かけたスペイン各地から 9 月 7 日と 8 日の植樹式に合わせてレオンの町に集合しました。9 月 7 日の朝、レオン県庁に全員で表敬訪問に赴き、Miguel Ángel Fernández 副知事、Emilio Orejas スポーツ担当部長、José Miguel Nieto 社会・消費権部長の出迎えを受け、議場で歓迎の挨拶をいただき、私から返礼の挨拶をさせていただきました。レオン県庁が我々一行のために準備してくれたバスで、Priaranza del Bierzo に向かい最初の植樹場所である Villalibre に到着。ここは今回のプロジェクトのすべてを準備してくださった Priaranza 市長の José Manuel Blanco Gómez 氏と市の職員の協力で 7 本の桜 (*Prunus serrulata*) を植え、Priaranza 側と横浜スペイン協会側で其々用意したプレートを設置。記念撮影と地元新聞社の取材を受けました。2 カ所目の植樹場所は Arganza のワインボダガ Palacio de Canedo の所有地の Bosque Didáctico (教育の森) の植林中の丘に 3 本の桜の苗木を植樹しました。

レオン県の好意に感謝するとともに、この友好の絆を絶やすことなく協会としてこれからも継続する努力をし、数年後に桜の頃に訪ねてみませんか。(会長：山崎宗城)





レオン州さくら植樹に参加のメンバーから旅の感想が届きました

❁ 下山利明（理事）

今回のさくら植樹は数えて4回目。前回1998年3月のセビージャ訪問以来17年もの時が経過しました。協会設立の原点に戻り、久々のさくら植樹再開は喜ばしい事です。過去の歩みは両親の膨大な写真や会報でしか知る由もありませんが、レオン州では2日間と言う短い期間ではありましたが、県議会訪問と2ヶ所の植樹の折りに、現地の方々のホスタビリティ、優しさ、素朴さ、情熱を身近に感じる事ができる充実した国際交流でした。植樹はロンダ、セビージャ、レオンとスペインを北上中。さて、次回はどこに？イベントの後旅を続け、独自の文化を持ち経済発展目覚ましい美食の街として知られるバスク地方の下見の機会を得ました。次回は更に多くの会員の皆様と一緒に、スペインとの国際交流の場を広げられたら良いなと思っております。最後に、現地で関係者との調整、桜調達等の準備に奔走された問屋様の多大な貢献に感謝申し上げます。

❁ 真木幸子（理事）

横浜スペイン協会設立の大きな原動力となった日西交流さくら植樹、今回は協会員問屋正勝様のご尽力でレオン州プリアランサにて行われ参加できましたこと、誠に光栄なことでした。レオン県議会への表敬訪問、植樹、折り紙交流どれも個人の旅では経験できぬ貴重な体験でした。これらの桜は数年後、綺麗な花を咲かせ地元の方々、また巡礼路を歩く人々を必ずや喜ばせることでしょう。いつか再訪できたらと思っております。

❁ 問屋正勝（会員・コーディネーター）

私は2007年から毎年3ヶ月間スペインに滞在しています。滞在中、サンティアゴ巡礼、巡礼宿のボランティア、交流コーディネータを行っており、これまでの巡礼距離は9000kmを超えます。これらの活動を通して多くの人と知り合いになりました。ブランコ氏もその一人で、2012年、冬の道(200km)を約10日間かけて二人で巡礼しました。今回ブランコ氏の協力でこの冬の道が通るレオン県プリアランサ村に桜を植樹しました。ブランコ氏はここの村長でもあり、折紙交流もプリアランサ村の文化会館で行いました。

今回のさくら植樹と折紙交流会の発端は、去年4月レオン県のオレハ氏（前知事）、ブランコ氏（前県会議員）を含む三名の来日でした。山崎会長や理事の方たちと横浜中華街で三名の歓迎会を催しましたが、席上、さくら植樹が話題になりました。スペインでは今年5月に地方選挙がありましたが、マホ新知事も日本との交流を大事に考えています。

プリアランサ村のあたりは栗やサクランボの大生産地で、桜の栽培に適した土地といえます。今回植樹した日本種の桜が花を咲かせ、多くの人達の目にとまることになると思います。横浜スペイン協会の新たな交流拠点の一つになることを期待しています。

❁ 中村瑛子（会員・折り紙サークル講師）

さくら植樹に伴う文化交流に折り紙を提案し、2月に折り紙サークルを創設して準備をしてきました。その成果が実り交流は和気藹々と国籍も忘れて賑やかに成功裏に終わりました。

展示作品をたくさん作成して来てくださった方たち、その中にはサラゴサからこれもたくさんの折り紙作品を持って参加して下さったピリさんもいました。折り紙教室ではほとんど全員の方が個人指導等で参加をしてくださっている光景は感動的でもありました。

折り紙は日本独自のものでもなく日本に紙の文化が伝わったと同時に西にイスラム人が紙を伝え、スペインでも独自に折り紙文化が発展してきていました。その中心になったのがサラゴサで1940年代に折り紙協会が創設され一昨年にはヨーロッパ唯一の折り紙博物館がオープンしました。ピリさんによるとサラゴサには折り紙サークルがいろいろあるということでした。レオン県庁表敬訪問前日のこと、レオンのシンボル、カテドラル前広場のテラスレストランであくる日の県議会代表の前での折り紙デモンストレーションのためにピリさんから泥縄式にスペイン語での説明用語を習いました。習い終えた途端、厳しくもやさしい野次馬連の栗山先生や真木理事からすぐに練習！と命令を受けランチもそっちのけで、つかえつかえ模擬プレゼンをやったのも楽しい思い出になりました。かく、皆様のご協力の下、すべてスムーズに楽しくことが運びましたこと、心より感謝いたします。

❁栗山由美子（会員・スペイン語クラス講師）

レオン県議会への表敬訪問、プリアランサでの植樹(7本)、ビエルソ地方カネドの実業家プラダ氏所有の教育の森での植樹(3本)、その他様々な場面で通訳し、皆様のお役に立て光栄です。特にプラダさんが ia tope! (もう最高!)をうたい文句に、自らの哲学を熱く語り、率先して自ら植樹し、肥料をやり、「30年後孫の世代がここで美しく咲く日本の桜を眺めたら、この植樹が未来に繋がることになり、もう最高!」と言われたその姿が感動的でした。

❁佐藤順子（会員）

スペイン巡礼の道に 桜並木…。桜で世界がつながる。
桜の花言葉： 豊かな教養、しとやか。

❁服部君江（会員）

まず、レオンさくら植樹に参加できましたことを感謝致します。関係者皆様のお力で、さくら植樹・文化交流は、成功裏に終わりました。レオン出発に先立ち、中村様より”SAKURA”という小冊子を頂きました。この書により、これまでのさくら植樹がどのように行われてきたかを知り、深い感銘を受けました。そのさくら植樹に自身も関わるという、素晴らしい経験をさせていただきましたことは、この上ないよき思い出でございます。願わくはいつの日か、桜咲く季節に彼の地を訪れ、永年にわたる先人の方々の植樹の努力を偲ぶことができましたらと夢を広げつつ、こうした日西交流を地道に続けていくことの大切さを痛感しているところです。

❁下山綾子（会員）

横浜スペイン協会創立15周年の年に、義父である故下山貞明前会長のお伴としてロンダへの旅行に参加してから、あっという間に10年が経ちました。この10年間様々な変化がありながらも、本年このような形で25周年記念事業が行われ、そのビッグイベントの1つに参加出来ました事を嬉しく思います。15年経って立派に咲いたロンダの桜に感動した時と同様に、次は咲き乱れる桜を見にレオンの地を再訪できるよう、横浜スペイン協会の活動が末永く続くようお願い、また微力ながらお手伝いをして参りたいとつくづく感じる植樹の旅でした。

❀戸叶悦子（非会員）

横浜スペイン協会、レオン植樹の旅に参加させて頂き、お世話になりました。表敬訪問、さくら植樹、折り紙交流、美味しいお料理とワイン、美しい街、自然、地元の方々との交流、全て無二の体験でした。協会のお一人お一人の骨惜しみせぬ活動の賜物ですね。お陰でスペインがすっかり身近で懐かしい国になりました。協会の友好の働きの更なる発展を願っております。ありがとうございました。

❀江口綾子（非会員）

スペインでの植樹式と折紙交流会という大イベントに参加させていただき、巡礼道に桜を植えるという貴重な体験が出来た事、とても嬉しく思っております。公民館での村長さんらによる歓迎のお料理、世界遺産、ワイナリー見学等、普通の旅行では味わえない経験をすることが出来、本当に良い思い出になりました。植樹した桜が巡礼道に咲くのが楽しみです。

❀阿部 ゆき美（非会員）

初めての植樹や、地元の方々との交流を通し、改めてスペインの歴史、自然、奥深さを感じた楽しい旅でした。桜の木が大きく育ち、巡礼の旅人を見守ってくれるよう祈っています。



❀江口吉光（会員）

レオン桜植樹旅行に参加して

私は 1998 年に横浜スペイン協会に入会しました。ヨランダ先生のスペイン語教室に通ったり、2000 年 4 月の設立 10 周年記念行事ではロンダ市議代表団との交流イベントにも参加したり等、一時は熱心な会員でした。しかしその後は公私ともに多忙となり、たまに協会主催のコンサートに参加する程度の“会員歴だけが古い幽霊会員状態”が長く続いていました。時間的にも余裕が出来てきたそんな時、サルスエラ・「ロンダに咲いた桜」を観る機会を得ました。観劇中、会員の皆さんの明るさと一体感に元気をもらい、触発され、むくむくと又、協会の活動に参加したい、スペインでのさくら植樹に参加したいという気持ちが沸き起こりました。そして 4 月から再びスペイン語教室（ハスミン）に通い始めると共に、レオンや周辺の地域の情報を集めて植樹旅行に備えました。植樹とオリガミによる文化交流は大成功でした。詳しい報告は他のメンバーの皆さんに譲るとして、私は今回の旅行全体の感想を報告します。旅行は期待通りの楽しく、充実したものでした。レオン集合のポンフェラーダ解散で、前後の旅行は各自自由と言う大人の企画。私は、10 月 6 日～8 日のさくら植樹の日程を含めて 11 日間の旅行計画を立てました。4 日～5 日と 11 日～13 日がマドリッド観光、9 日～11 日がリオハ、リベラ・デ・デュエロのワイナリー訪問です。この旅行で感じたことは沢山ありますが、特に印象に残った事が 3 つあります。

①今回の旅行は単なる観光旅行ではなく、さくら植樹による文化交流という大きな目的があったこと。今回の企画のアレンジを現地でやってくださった問屋さん、ありがとうございました。草の根の文化交流がこんなにも気持ちを豊かにしてくれるものかと思いました。問屋さんの生き方、ちょっとうらやましいですね。



②スペイン人の国民性を垣間見ることが出来たこと。

出会ったスペインの人達は明るく、不況もなんのその。その生き方は素敵だな～と思いました。ブックカフェのお客しか入手出来ない地下トイレの暗証番号を内緒で教えてくれたスペイン人女性、マドリッドのサンイシドロ教会で出会ったブラジル日系2世のルーベンス・ミノル・ウチダ牧師、突然の代役にも関わらず親切にワイナリーを案内してくれたボデガス・ヴィツリア・ワインメーカーのギジェルモ・カストロさん。もっとアバウトに人生楽しんだら良いのではないかな～。日本人、生真面目過ぎないかい？という事を感じました。元々生まれも育ちも九州の私の体の中にはラテン系の血が流れているからかもしれませんね～。



③ 参加メンバーに恵まれたこと。

さくら植樹のメンバーの皆さん、ワイナリー訪問をご一緒した山崎会長、ありがとうございました！良いチームワークでしたね。桜の植樹やオリガミによる文化交流、いい雰囲気でした！お陰様で、いい思い出が出来ました。また、次の機会もご一緒したいです。旅行にハプニングは付き物。自前の旅行プランが旅の醍醐味です。また、こんな旅がしたいと思います。



～ スペインからもお便りが届きました ～

✿小原京子（スペイン・マドリード在住 ～元スペイン大使館勤務・文化担当）

レオンに花咲け、友好の桜

9月7日、レオンのプリアランサ町。サンティアゴを目指す巡礼路のほとりに、ブランコ町長と山崎会長、続いて横浜スペイン協会の皆さんが、桜を植樹なさるのを見ながら、亡き下山貞明会長もきっとこの瞬間をあの優しい笑顔で見守っておられると感じました。1993年の第一回植樹、ロンダの桜の生みの親、画家の春田美樹さんの顔も浮かびました。



桜舞う
巡礼のみち
想い馳す

ロンダ、セビリア、コリア・デル・リオ・・・レオンではアルガンサのワイナリー&ホテル Palacio de Canedo 内の教育の森にも植えました。オーナーのプラダ氏は、「仕事、食べること、女性が好き、がははは」と強烈な個性の持ち主で、モットーは ATope! 何事も思いっきり。東京のスペイン大使館に協会から寄贈された横浜緋桜も毎春艶やかなピンクの花を咲かせています。レオンの桜が咲くのはいつでしょう？満開の桜が巡礼の目を楽しませてくれる日が楽しみです。

Viaje a EL BIERZO (LEÓN 6-8 de septiembre de 2015)

¡ GRACIAS ! A la Sociedad Hispánica de Yokohama por haberme dado la oportunidad de unirme a ellos, en el maravilloso proyecto de plantar arboles de cerezo en EL BIERZO - LEÓN ,ESPAÑA - y enseñar el arte del ORIGAMI a los lugareños, (a pesar de ser yo aragonesa y no leonesa)

Esta experiencia tan bonita y gratificante que he tenido, se la debo en especial a la Sra .Sachiko Maki que tuvo el grandísimo detalle de invitarme y de hablarles de mi al grupo , el cual, me acogió como a uno más, haciéndome recordar mis años vividos en Japón como profesora de español y volver a sentir orgullosa, el entusiasmo y el interés por la cultura , la lengua y la gente española, que los japoneses profesan.

Dicen que : " Las personas entran y salen de nuestras vidas pero ellas nunca se van solas... siempre se llevan un poco de nosotros , y dejan algo de si. "

Esperando que este grupo de la Sociedad Hispánica de Yokohama se haya llevado de vuelta a Japón un grato recuerdo de su estancia aquí y, agradeciéndoles de corazón que nos hayan dejado además de los cerezos y el origami, su AMISTAD y su CARIÑO hacia España y los españoles.

OSEWA NI NARIMASHITA!!

WATASHI NO KOKORO WA ARIGATOO DE IPPAI DESU!!

La próxima vez os espero en Zaragoza , Aragón. Mi tierra natal.



この度、スペインのレオン県エル・ビエルソにおけるさくら植樹、ならびにその地域の方々に、折り紙をお教えする素晴らしい計画に、皆様と共に参加する機会を与えていただき、横浜スペイン協会に対し心から御礼申し上げます (私はアラゴンの出身でレオンの出身ではありませんが)。

この素晴らしい、満足感を与えてくれる今回の経験は、真木幸子さんの特別の御心遣いによるものでした。彼女は私を招待するために大変気を配ってください、協会から参加される皆様に、私のことをよく話しておいて下さいましたので、その御蔭で皆様は、私を普通の参加者の一人として受け入れてくださいました。そして私はスペイン語教師として日本で暮らした年月を思い出し、日本の方たちが示して下さいるスペイン文化、スペイン語、そしてスペイン人に対する熱い思いと関心を、今一度誇らしく思いました。

次のようなことが、こちらではよく言われます。— 私たちの日々の暮らしによそから人がやって来て、去ってゆく。しかし彼らは決してひっそりと帰って行くわけではない。いつも我々の何かを携えて帰って行くのだ。

今回横浜スペイン協会の御一行が、スペイン滞在の楽しい思い出を日本に持ち帰られたことを期待し、又サクラと折り紙をスペインにもたらされただけでなく、スペインとスペインの人々に、友情と親愛の情をもたらされたことを、皆様に心より感謝いたします。(和訳・栗山由美子)

私たちのスペイン展

遠目からでも赤い字ではっきりと見える「私たちのスペイン展」の縦看板が目に入り、更に建物内部に入ると右側の展示場の入口にも赤い字で書かれた吊看板が目に入る。9月28日～10月2日まで開催された横浜スペイン協会創立25周年記念イベント「私たちのスペイン展」はまず、協会の歩みを記したパネルから始まってレオン州の植樹パネル、サルスエラ記念公演と写真、正面には油絵、水彩画、写真と続き「日西交流折り紙展」の作品が所狭しと置かれていてカラフルな華やぎが目に入る。隣の壁を利用してDVDが流れ、間仕切りにはスペイン各地のポスターが貼られ、明日にでもスペインに行きたいと思わせるレイアウト！更に進むと語学教室紹介パネルがあり、現在の横浜スペイン協会の全てが分かるようになっている素晴らしい展示内容であった。

スペイン大使館からテープカットのセレモニーに来られた参事官もさぞかし満足されて帰られたでしょう。5日間の展示ではありましたが、会期中は620人もの見学者が来ていただきました。大成功だったと思います。この企画を実現するには実行委員の方、ボランティアの方等本当に皆さんよくやってくれました。この紙面を借りて御礼申し上げます。次回5年後は正に東京五輪の年であり協会創立30周年の年でもあります。更に進化した協会の姿をアピールしたいものです。
(事務局長 石井加奈弘)



出展者からの声と作品の一部をご紹介します



《小関敏雄》～「チンチョンのBAR」

山田るり子先生から今回のお話をいただき、とても悩みましたが、日頃迷惑ばかりおかけしている恩返しということで、10年ほど前から始めているタイル絵を出展させていただきました。この作品は「チンチョンのBar」です。3年ほど前、初めての一人旅でマドリッドからバスに乗ったのですが、チンチョンを通り過ぎてしまい歩いて戻ってBarでビールを1杯頼んだら、タパスが3つも出てきてビックリ！



《満尾泰彦》～「崖の上の教会」

今回の25周年記念諸イベントは、4月のサルスエラ「ロンダに咲いたサクラ」に始まりいつにない盛り上がりを見せました。「私たちのスペイン展」もその流れの中で盛会で大成功でした。これはひとえに、役員を初めとする会員各位の献身的な活動の賜物と存じます。私は、そのロンダに因み同地およびその近辺の風景水彩画3点をゲスト出展させて頂き、良い記念となりました。有難うございました。AIYESの今後の益々のご発展を祈念致します。



《渡邊昭夫》～「¡ Buenas tardes paloma ! (Marbella)」

AIYESの四半世紀の歴史の節目の「私たちのスペイン展」に出展させていただいたことに感謝します。スペインに強い思い入れをもった会員の作品で飾られた会場は、まさにスペイン！多くの来訪者に、その想いは十分に伝わったことと思います。それにしても、企画から最期まで、明るく手際よく処理された会員有志のチームワークの良さ！素晴らしい財産です。さて、次は2020年東京五輪の年の30周年！さらに魅力ある展覧会としましょう！

～ 来場者からの声（アンケートからの抜粋）～



《中島勲》「丘の風車」

◆写真，展示を見てスペインの生活を知ることができました。アルハンブラ宮殿も是非行ってみたいです、陽気な国で過ごされた皆様ですか？良いお仲間は羨ましい限りです。今度はゆっくりスペイン全土を旅したいですネ。有難うございました。



《武菱邦夫》「小さな町の広場」

◆日本ではなかなか見えないような、明るい色使いで彩られ他様々な風景を見ることができ良かったです。地中海沿岸、西のヨーロッパの年中温暖そうな、陽気な雰囲気が明るいきれいな音楽とともに味わえて、スペインに行ってみたいな！と思いました！



《松下康》「メスキータ」

◆素敵な絵や写真がたくさんあって、スペインに行ってみたくなりました。折り紙の傘もいただいてしまってありがとうございました。

◆絵も写真も全てレベルの高さに驚いた。実際に旅行した時に記憶に残った情景が思い出されて懐かしかった。スペイン語習得以外に、このような趣味を持つのも良いものだと再認識した。



《山田るり子》「ビルバオのバル」

◆横浜スペイン協会創立 25 周年おめでとうございます。こちらに伺うまでは、協会の存在を知りませんでした。すごい団体ですネ。絵画、写真、紙人形全て素敵でした。受け付けにいらした方たちも素敵でした。これからのご活躍をお祈り申し上げます、ありがとうございました。

◆水彩、油、タイル、写真と様々な手法による作品の展示を楽しませていただきました、お料理、コンサートなど多角的な活動があり、会員の

皆様にとり豊かな時間を過ごす場になっていることを感じました。

◆本日ご縁を頂きました。とてもびっくりすることばかりで折り紙実演して頂きとても感動の時間でした。長生きする事もこのような出会いに感謝です。



《中村瑛子》「紙人形～カルメン」

◆“交流” はとてもむずかしく大変なので、続けていらっしゃるということに感動しました。折り紙も押し花もきれいですばらしかったです。素敵

な時間をどうもありがとうございました。

◆今年の 6 月末から 7 月にかけてマドリッド～グラナダ、マラガ～バレンシア～バルセロナと初めてスペイン旅行に行ったので、思わず懐かしく立ち寄りました。絵画や写真の当時の記憶がよみがえり、旅心を刺激されました。次回はロンダの桜を見に行ってみたいと思います。ありがとうございます。



《佐藤明子》「スペインタイル」

◆色々と情報が展示されており、大変参考になりました。スペインへはマドリードにビジネスで行っただけですが、歴史多い他の地域に是非とも行ってみたいとの気持ちを強く持ちました。ありがとうございました。

◆たまたま県民センターに参り、スペインに旅を考えておりましたのでこのような集まりが有るのを知りました。タイル、絵、写真みんな素晴らしい！折り紙参加してみたかった！！



《多島眞須美》「ドン・キホーテの村」

◆本日はおめでとうございます。初めて来展させて頂きました。文化交流、民間外交そして何より、皆々様が楽しそうにしていらっしゃるご様子がなんと素晴らしい会でありますことが判り、又伺いたく存じます。スペインに行ってみたく思います。その時はぜひ皆様のお知恵を下さいませ。五十回、百回とご発展を心よりお祈り申し上げます。

◆花のスペイン国旗ステキでした。

◆新婚旅行で行ったスペインを思い出しました。建築物や風景がとても素敵だったので、もう一度行っみたいたいです。

.....

紙面の都合で全部掲載できませんでしたが 80 人ほどの方からご感想いただきました。温かいお言葉ありがとうございました。

「私たちのスペイン展」報告

2015年9月29日(月)より10月2日(金)の5日間にわたり神奈川県民センター1階展示場で「私たちのスペイン展」が行われました。展示作品数は68件、また折り紙教室や旅の会「日西交流さくら植樹を終えて」の報告も行われました。

開催期間中の入場者数は620人と予想を超える大変多くの方々が来場されました。同時に来場された方々から76件にもなる多くのご意見をいただき、多くの方々に今回の展示会の出会いを喜んでいただきました。この中には、作品をご覧になりスペインでの思い出を語る方や、スペインに新たに興味を持たれる方、また、横浜スペイン協会の活動を初めて知った方などたくさんの感想をいただきました。

25年前の桜の植樹から始まった日本とスペインとの地道な文化交流ですが今回の展示会も将来にわたる文化交流の一助となればと思っています。

最後に今回の展示会のために多方面ににわたり素晴らしい作品を提供していただいた多くの方々、展示準備にご協力していただいた方、会場受付をしていただいた方々、すべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。(武菱邦夫)



『旅でスペインを識ろう会 特別編 ～日西交流さくら植樹を終えて』

9月30日の旅の会は いつもと趣向を変え「私たちのスペイン展」の会場の一角で「未来に咲くレオンの桜 日西交流さくら植樹を終えて」と題して公開の形で行われました。会場には観覧中の方や協会 ス페인語教室帰りの方々など40名ほどの方が集まり、椅子席を追加したほどでした。まず栗山先生から、レオン王国の歴史とレオン市の見どころについてご講義頂いた後 今回の植樹のご報告がありました。詳細は別掲の記事をご覧くださいとて、今回の植樹旅行の裏話として先生が通訳としてご苦労されたエピソードや、二か所目のワイナリーの自由奔放でサービス精神旺盛な、でも実は誠実なオーナーについて面白おかしく語られ、会場は笑いの渦に包まれました。続いて、山崎会長よりレオン議会での歓迎行事、中村瑛子さんから ORIGAMI を通じた日西交流行事、問屋さんから植樹行事設営までの苦労談などの発表がありました。プロジェクターで投影された訪問団の皆様の楽しげで充実したお顔を見て 25周年植樹が成功裏に終わったことを確信できた旅の会でした。(臼井慎一)



●旅でスペインを識ろう会

2015.5.11 県民センター705号室

『60代主婦のメキシコ留学』と題して、高森清子さんが今年の1月から3月までの2カ月間、メキシコのグアナファトへ留学をされた時のお話です。

子育てを含め夫の定年や諸々の家庭行事に一段落を迎えた時、誰しもが次に何をしようと考えてしまう、その結論が彼女の場合は海外留学。

この旅行にはご主人と交わした3つのミッションがあって、レスリング観戦と夫へのTシャツのお土産は簡単に済んだが、ゴルフをしてくるという難問が残った。まず一人ではプレーできないので仲間を探さなくてはならない。一緒にプレーしてくれる日本人とゴルフ場までの交通事情も苦心の末クリア出来た。キャディーさんは一人に一人つけないといけない規則となっているのでかたがた贅沢な気分でもプレーも満喫。努力の甲斐あり。

最後に持参したお金に関するお話。1300ドルとクレジットカード3枚を用意した。日本円は現地では使えないという情報だったが万が一にと思い現金20万円を加えた。月曜日に銀行に換金に行ったところ、土日でも営業をしているので週初めの銀行側の準備紙幣が不足していて変えられない。まだ続く留学生活は…どうしよう。街中の両替店で交換出来てホットしたとの事。日本円が結局功を奏した。因みにホームステイ料金は1泊3食付で¥2000、コーヒー1杯は25~70ペソとかなり安い。今日(5月13日)のレートはインターネットで調べたところ1ペソが7.8円だった。

とても楽しいお話でしたが紙面の関係上全てをお伝えできないのがとても残念!

大した勇気と実行力に乾杯!! 熟年よ大志を抱け! (鎌田暁子)

●スペイン語クラス

今年の第7回夏期スペイン語クラス文化講座は7月末から計6回の講座が開催されました。当協会のガルソン・ブラボ・フランシスコ講師、アルカニス・ブセタ・ビセンテ講師と初めてコロンビアご出身のフリーーナ・ブリティカ講師をお迎えし、多数の皆さんに参加頂き実施されました。テーマは「コロンブス」、「セルバンテス」、「コロンビア文化の多様性」などのバラエティに富んだもので大いに私たちの見聞を広めてくれる文化講座となりました。(福長昭代)

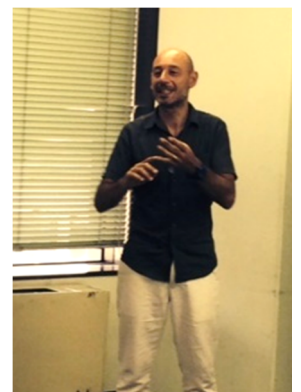


¡BUENOS DÍAS!

第7回文化講座を受講して

『まるでチンプンカンプン!』NHK で始まった“情熱のシーラ”をスペイン語版で視聴した時の感想である。最も難聴の私には、日本語の台詞でも聞き取れないことがしばしばある。いわんやスペイン語ではなおさらである。何年経ってもスペイン語のレベルは初級から脱することのできない私は、今回初めて夏期講座への参加を決心したのだが申込書を提出するまでずいぶん躊躇した。

「どうせ聞き取れないのに毎回2時間の講義をじっと聞くに辛さに耐えられるか？」—え〜い、挑戦だ!— とにかく分からなくてもスペイン語の音に慣れてみよう。



<フラン講師>

第1回目：不安を胸に教室に入る。他の受講者は顔を見ただけでスペイン語の得意そうな人ばかり。恐怖の講座が始まってみると先生がゆっくり、丁寧に話してくれたので半分以上（casi todo）理解できた。（つもり？）ところが3回目から6回目の講座になると“情熱のシーラ現象”が再現されてしまった。つまり、理解力は限りなくゼロに近づき No he entendido casi nada.とあいなった。忘却能力の高さには定評のある私ですがこの言葉があります。



<フリーアーナ講師>



<ビセンテ講師>

Navegación de cabotaje（沿岸航海）です。しかし、この先この言葉を使うチャンスはあるのだろうか？もっと使用頻度の高い言葉を覚えればよかったのに・・・あ～あ、コウカイ、コウカイ。さてコウカイが終了したら、もう一度気を取り直して目指せ！<難聴通訳ガイド>（アマポーラクラス 池田昭一）

●シネマ・サロン

「JAUJA」－「約束の地」

（JAUJAとは、神話の中で豊穡と幸福の理想郷として語り継がれている土地だそうです。）

監督・Lisandro・Alonso

主演・製作・Viggo Mortensen 2014年、アルゼンチン。

1882年、パタゴニア。政府の軍事作戦にエンジニアとして参加したデンマーク人の大尉。娘を伴い海岸沿いの湿地帯で野営している。大人の魅力をたたえた娘は若い兵士と駆け落ちする。父親は軍服をまとい銃と剣を携えて探しに行く。湿地に残る馬の足跡を追って大平原へ。政府軍の将校が任務を離れ略奪や殺人を繰り返しているとのうわさもあり、その現場と思われるところに遭遇。娘と逃亡した兵士の死体を見つける。この現場で銃と馬を奪われる。娘の気配はどこにもなく、巨岩の荒野を当てもなくさまよい絶望したとき、痩せた白い犬に導かれた先の洞穴で不思議な老婆に出会い、娘がテントから持ち出したものと同じ方位磁石をもらおう。「人生を動かし前進させるものは何か」と謎めいた言葉を投げかけられる。水たまり、湿疹のある犬、兵隊の人形、方位磁石などがパズルの手がかりのように繰り返し現れる。父親は荒野をさまよい続け忽然と消えてしまう。

エピローグ：現代。明るい朝、美しいお屋敷で目覚める少女。例の犬と老人が美しい芝生の庭で彼女を出迎える。犬と入った森で少女は兵隊人形を拾い、何気なく投げると、一瞬に虹と水の流れが現れる。過去、現在、未来を超えた父と娘の再会の物語なのか、そのような時を背景にして秘境の楽園を求めてきた人にとってのたどり着けない精神的迷宮を表現しているのだろうか？

重厚で不思議なたくさんの暗示を散りばめた物語でした。（松本益代）



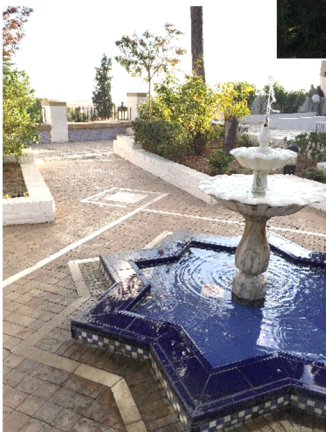
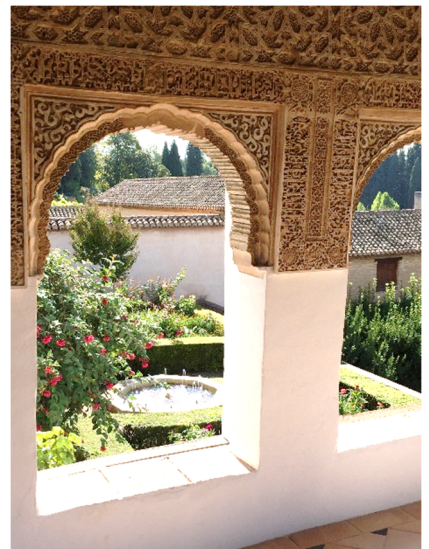
●スペイン便り

カルメンの街から



アルハンブラ宮殿はその精巧で神秘的な建築物と美しい庭園で世界中の人々を魅了しています。なんととってもスペインで一番たくさんの訪問客を日々迎えているモニュメントでもあります。アルハンブラ宮殿を擁するグラナダは、カルメン（庭付きの一戸建て）がたくさんあります。壮麗なアルハンブラの庭園に負けないくらい、小さな、けれど、とびきり美しい庭が点在するのです。個人宅内なのでなかなか一般の方は目にする機会がないのですけれど…

大昔にペルシャの庭園を模したイスラムの庭づくりがスペインへ伝わったといわれています。日本の庭もそうですが、こちらの庭も天国を表そうとしたもの。視覚（美しさ）、聴覚（水の水音、木々や葉が風にそよぐ音、葉の形が違えば音も全然違います！）嗅覚（オレンジやジャスミンの花や香草の匂い）味覚（菜園で取れる野菜、手でもぎ取って齧るレモンやオレンジ、ざくろなど）触覚。五感すべてで美しい天国を感じられる自分だけの庭園。先日、課外授業の小学校1年生くらいでしょうか、小さな子供たちを連れた先生が小さな噴水の前でこんなことを言っていました。「噴水は見て楽しいだけではありません。みんなよく匂いを嗅いでみて。どう、涼やかな匂いがするでしょう？」涼しい匂い！なんて素敵な小学校の先生でしょうか。感激してしまいました。（西澤安澄）



¡ Esto Esto Esto !

賛助会員ご紹介のコーナーです

有限会社 フレア

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-17-8-3F Tel:0467-42-8531 Fax:0467-42-8532

現在、アトリエ・フレアの主宰を務める丸山稚香子さんは当初 1990 年代は「花と緑の研究所(株)」(所長 杉野宣雄)で活動しておりました。その後、「花と緑の研究所」が(株)日本ヴォーグ社と業務提携を行い、前者が素材開発を担当し、後者が流通・マーケティングを担当する「ふしぎな花倶楽部」として誕生し、全国に 55 か所以上の支部を持つ全国的な組織へと拡大しました。

2002 年に有限会社フレアとして独立した丸山さんの会社は「ふしぎな花倶楽部」の神奈川県支部としての「神奈川県押花倶楽部」となりました。

「ふしぎな花倶楽部」の押し花は、自然の花の持つ本来の美しさを長期間保存することができます。又草花に限らず野菜や果物、きのこ類や樹皮、海藻なども自然にきれいに押すことができます。1998 年横浜スペイン協会による第 3 回スペインさくら植樹の際、セビリア市、ロンダ市に於いて「ヨコハマデー」が企画され、日本文化の紹介として「押し花」と「折り紙」講座が開催され、地元の方々との交流が行われました。この時、押し花の指導をされたのが丸山稚香子さんで、以降横浜スペイン協会の賛助会員となり、横浜スペイン協会の故下山貞明会長が神奈川県押花芸術実行委員会委員長兼審査委員となり、2000 年 3 月に第一回神奈川県押花芸術展が横浜ランドマークホールで開催され、以来 2001 年 11 月、2005 年 3 月、2011 年 6 月、2014 年 5 月の第 5 回と会を重ねてきました。次回は 2016 年 5 月 26 日～5 月 29 日まで第 6 回神奈川県押花芸術展が鎌倉芸術館ギャラリー全館で開催予定です。



現在、アトリエ・フレアでは押し花の他に、「フレンチデコ」「アートプリント」「ヘリテージ DECO」「タイルクラフト」「グラスアート」「書道教室」講座等を行っております。

体験会、レッスンのお申し込みはお電話か FAX でお願いします。

【取材：山崎宗城】

**** 事務局からのお知らせ ****

9 月 28 日～10 月 2 日まで県民活動サポートセンターで開催された「私たちのスペイン展」も盛況のうちに終了することができました。年頭に皆様にお知らせした創立 25 周年記念イベントも着実に実行しており、スペイン大使館で開催のスペイン音楽コンサートを残すのみとなりました。現在着々と準備は進んでおります。具現化しましたら HP や AIYES 通信、メール等で皆様にお知らせいたします。興味のある方は楽しみにお待ちください。

***** 新会員紹介 *****

中田博久 (Hirohisa Nakata) 横浜市都筑区在住 2015年9月入会

- ・20代のころ、2度スペインを訪れ、お国柄、文化などに大変魅了されました。
- ・定年前の記念に35年ぶりに再訪、あらためてその魅力を再認識致しました。
- ・これからのボランティア活動の一環に仲間に加えさせていただきます。
- ・スペイン語の勉強はもとより、幅広くお付き合い願います。

鈴木裕 (Yutaka Suzuki) スペイン マドリッド在住 2015年9月入会

1973年スペイン外務省給費留学生としてスペインに来て以来42年になります。去年まで日本の会社のスペイン支社に勤務していましたが今年定年退職しました。以前よりスペインの歴史に興味あり特に16世紀について勉強してきましたがさらにさかのぼり15世紀について突っ込んで研究しこの度本を出版しました。タイトルはPersonajes del siglo xv Orugenes del Imperio españolです。16世紀スペイン帝国の期限を15世紀に活躍した60人の人物の伝記から検索します。小生横須賀市の出身で叔母が横浜に住んでいたのが幼児のころから横浜にはなじみがあります。スペイン協会の皆様に日本では知られていないスペインの歴史について紹介できればと思い入会申請致しました。

大谷博子 (Hiroko Otani) 東京都杉並区在住 2015年9月入会

この度 下山綾子さんのご紹介で入会させていただきました。学生時代にスペイン語の授業を受けたことは有りますが まだスペインを訪れたことはありません。これから協会の様々な催し物に参加させていただき スペインの良さを知って楽しみたいと思います。よろしく願いいたします。

<<賛助会員各社の会員サービス内容>>

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

| 賛 助 会 員 | 住 所 | ☎番号 | 会員サービス |
|-----------------------|-----------------------------------|--------------|-----------|
| カサ・デ・フジモリ関内本店 | 横浜市中区相生町1-25 | 045-662-9474 | サングリア1杯無料 |
| Bar Español | 横浜市中区相生町2-43-2 | 045-651-1074 | サングリア1杯無料 |
| カサ・デ・フジモリ目黒店 | 東京都品川区上大崎2-16-3 | 03-5420-5328 | サングリア1杯無料 |
| アトリエ フレア Atlier Flair | 鎌倉市大船2-17-8 中島ビル3F | 0467-42-8531 | 押し花体験費用割引 |
| スペインバル ボデガ・デ・サリア | 東京都港区台場2-2-1 ザ・クルーズ・ゲイブアネックスホール1F | 03-5531-2151 | 生ビール一杯無料 |

<編集後記> 25周年記念4大イベントは「ロンダに咲いた桜」に始まり、今号は大成功だった「レオン州さくら植樹」と「私たちのスペイン展」特集。熱い熱い関係者の寄稿文は尽きることなく続き、紙面は当初の予定より大幅オーバー。当協会の強力なパワーが爆発。編集責任者として嬉しい悲鳴。残すは「スペイン大使館でのピアノコンサート」。皆様、ご期待下さい！（下山利明）

編集委員 石井加奈弘 白井慎一 古賀恵子 桜田ゆみ 下山利明 武菱邦夫 千葉博子 福長昭代 真木幸子 山崎宗城

*投稿寄稿宛先 〒247-0056 鎌倉市大船 1709-18
横浜スペイン協会 URL <http://www.yokohama-spain.jp>

今回の原稿締切は
12月10日(木)です。
投稿は800字以内、写真をお付け下さい